

かいなん小学校の子どもたちへ

かいなん小学校のみなさん、げんきにすごしていますか。学校では、いろいろな花がさいています。うんどうじょうには、小学校とこどもえんをむすぶロープに、こいのぼりがげんきよくおよいでいます。ウサギごやのウサギたちもげんきよく、ごはんをたべていますよ。

みなさんは、いま、いえの中ですごすことがおおいとおもいます。はやく学校でおともだちにあいたいなあとかんがえていることでしょう。としょかんの本もたくさんかりたいなあ、うんどうじょうでサッカーをしたいなあ、こくごやさんすうのおべんきょうをみんなといっしょにしたいなあ、とかんがえることもおおいとおもいます。

「ピンチはチャンス」ということばがあります。このことばのいみは、ピンチのときでも、かんがえをすこしかえて「じぶんのちからをつくるよいとき」だとかんがえ、それをのりこえて、じぶんをせいちょうさせていくことがだいじですといういみです。

いえですごすことがながいことを「ピンチ」とおもうのではなく、じぶんじしんでかんがえ、こうどうしたり、かぞくのことをたいせつにしてやさしいことばをかけたり、いままであまりできなかったおてつだいをしたりすることができる「チャンス」にかえていきましょう。

おとなの人は、このような「ピンチ」を「チャンス」にたくさんかえてきたせんぱいです。おとなの人たちも小さいときから少しずつ、すこしずつじぶんをそだてて、これまでせいちょうしてきたのです。

みなさんに、「ピンチ」を「チャンス」にかえ、じぶんのちからをそだてる1つのアイデアをしょうかいしますので、さんこうにしてください。

それは、「じぶんのじかんわり」をじぶんでつくることです。じかんわりができると、じぶんの「もくひょう」がうまれます。

学校では、先生がじかんわりをたててくださいますが、おうちでは、じぶんで「じぶんのじかんわり」をつくりましょう。そこに、「ピンチ」を「チャンス」にかえるおおきなヒントがかくれています。

じかんわりをつくるには、じぶんのことをそだててくれる「もうひとりのじぶん」が、こころの中にあることがひつようです。

「おべんきょうするじかきをきめたほうがいいな」「すこし、うんどろするじかきもいれようか」「おてつだいもいれたほうがいいんじゃない」「やすみじかきもつくったほうがいいよ」「テレビやゲームは、じかきをきめたほうがいいかな」「おふろはなんじにはいろいろかな」「きょうかしよのおんどくがじょうずにできるといいな」「リコーダーのれんしゅうも入れよう」「イラストをかいておとうさん、おかあさん、おじいちゃん、おばあちゃんにプレゼントするとよろこぶだろうな」「先生から『かだい』をもらったので、はやめにやっておきたいな」「かぞくとさんぽしてみよう」「ひろばでなわとびをしてからだをきたえようか」など、こころの中の「もうひとりのじぶん」があなたにはなしかけてくれます。

それを、じぶんのじかんわりに入れてごらんください。月よう日から、日よう日まで、どんなことをじぶんのじかんわりに入れていけるかためてごらんください。じぶんでつくったじかんわりがあなたをせいちょうさせてくれますよ。ちょうせんしてみてください。

「ピンチは、チャンス」、あたらしいちからをそだてるよいときだとかんがえて、それをたのしくのりこえていくふうをしてみましよう。きたいしていますよ。

れいわ 2年 5月1日
かいなん小学校
校長 まつだ てつや

◎ このひょうをさんこうにして、じぶんだけのじかんわりをつくってみてください。

わたしのじかんわり (れい)

かいなん小学校 年 組
名まえ ()

	月	火	水	木	金	土	日
1							
2							
きゅう けい①							
3							
4							
きゅう けい②							
うん どう							
おてつ だい							
そのた							